

くにがみ

国頭村広報

編集・発行／国頭村総務課
〒905-1495 沖縄県国頭村字辺土名121番地
☎0980-41-2101

第 146 号

2017 (平成29年) 5月



村内すべての学校で入学式が開催されました。

国頭村
の
人口

平成 29 年 3 月末現在		(人・戸)
世帯数	 2,377	出 生 3
総人口	 4,915	死 亡 9
男	 2,511	転 入 74
女	 2,404	転 出 88

平成 29 年 4 月末現在		(人・戸)
世帯数	 2,386	出 生 4
総人口	 4,915	死 亡 10
男	 2,511	転 入 30
女	 2,404	転 出 24


やんばるふんばる
国頭村
KUNIGAMISON
沖縄県
※国頭村の公式ロゴマークです。

平成29年度 施政方針

はじめに

平成29年第2回国頭村議会定例会の開催にあたり、村政運営の所信を申し述べ、議員各位並びに村民の皆様のご理解と御協力を賜りますようお願い申し上げます。

私は、2期目の就任から約1年が経過しましたが、村民の声に耳を傾け、村民福祉向上に向けて、様々な分野で取り組んでまいりました。しかし、課題は山積しており引き続き課題解決に向け全力で村政運営に取り組んでまいります。

昨年は、2期目のスタートにあたり、10月から12月までの3ヶ月にわたり、20区の地域に出向き住民の意見要望等を直接聞くことにより、住民の行政への参加と住民の相互理解を深め、住民ニーズを村政に反映させることを目的に地域懇談会を実施いたしました。各地域から様々な意見や要望等が提出され、平成28年度の補正予算で既に対応した事業、また、平成29年度で実施する事業等、厳しい財政状況の中で、意見や要望に出来る事から対応してまいります。

やんばる国立公園は、昨年の9月に指定され、そしてその核心部分については2月に世界自然遺産に推薦されたところです。推薦地としての価値が適切に保全できるような国や県等と連携して課題の解決を図り、早期登録を目指すまいります。また、併せて国立公園の利活用による地域振興にも力を入れていきます。

東アジア地域の自然史研究所及び標本の展示・公開を行う国立自然史博物館の誘致について、やんばる3村で連携し取り組んでまいります。

平成29年度の主要施策

平成23年度に策定しました第4次国頭村総合計画基本構想基本計画については、10年計画の前期5年を終了しました。前期5年間の総合計画基本計画の成果を検証し、後期5年間の基本計画について、国立公園指定、世界自然遺産登録及び国頭村人口ビジョン・総合戦略等との整合性を図りながら、国頭村の方向性を示す計画として策定してまいります。

次に、安心して生み育てる環境を整え、子育て支援の拠点施設と

なる平成26年度から進めてまいりました幼保連携型総合施設整備事業は、平成29年度が最終年度となり、施設整備と並行して平成30年度の認定子ども園の開園に向け、準備室を設置し、推進体制に取り組んでまいります。

新庁舎建設計画につきましては、平成28年度に策定した「新庁舎建設基本構想」を踏まえ、今後の建設に向け引き続き基金の積立を行い財政負担の軽減を図り、取り組みを推進してまいります。特に新庁舎の建設候補地については、これまでアンケートの結果、建設候補地などを広報紙、ホームページで掲載し、周知に努めてきたところでありますが、基本構想の内容及び建設候補地の比較について、住民説明会の開催を予定しております。

主な新規事業といたしまして、辺野喜分校跡地利用計画は、認知症グループホームの介護保健施設を、関係機関と連携し、早期に開所できるよう進めてまいります。

住宅対策として、村営楚洲団地及び桃園団地の整備を北部連携促進特別振興事業で計画書を提出しており、今後、事業費を確保できるよう、関係機関と連携を図り採択に向け努力してまいります。

また、若者の住宅を確保するた

め、比地地区定住促進住宅整備事業を実施してまいります。

村内の観光事業の推進役を担う「国頭村観光協会」が29年4月に設立されます。観光関連団体、観光関連事業者、村民、行政が相互に連携、協働し観光振興を実現するための一体となった体制の構築を目指し、支援を行ってまいります。

1 予算編成について

本村の基本目標である「自然を愛し活かした、豊で活力あるむらづくり」等を目指し、自立且つ持続的な発展に向け、産業の振興をはじめ、生活環境・公共施設の整備、教育・文化の振興、保健・医療及び福祉の拡充を図り、総合計画等の振興計画に基づく諸施策を推進する必要があります。

現下の地方財政は、地方税収入や地方交付税の原資となる国税収入が緩やかに回復することが見込まれる一方、沖縄振興特別推進交付金（一括交付金）が沖縄県全体で減額され、配分の減額等、財源への影響が懸念される中、社会保障関係経費の自然増や公債費が高い水準であること等により、村財政の財源不足が現在も常態化している状況にあります。

国・地方を巻き込んだ厳しい財政状況の中、地方公共団体には、

少子高齢化に対応した地域福祉の充実等、多様化した財政需要に適切に対応することが求められております。

今後とも、医療、福祉、教育など身近で必要不可欠な行政サービス水準を維持していくためには、安定的な財政基盤の確立が不可欠であり、行財政改革等による、産業振興施策の推進により税源のかん養を図っていくことが必要であります。

特に本村などの過疎や高齢者比率の高い地域においては、税源移譲の効果が都市部に比べて極めて厳しく、本村財政を取り巻く環境はさらに厳しさを増すことが予想されます。

近年の景気低迷の影響が残る状況下において、村税の徴収が厳しくなる中、各行政区の徴収嘱託員と関係各課との連携をより一層密にした徴収体制を構築し、滞納整理の強化に取り組んでいきます。また、税の公平・公正を確保するため、これまで同様に沖縄県と連携し、滞納者への共同催告文書の送付や、共同徴収を連携して自主財源の確保を図ってまいります。

平成29年度一般会計の予算規模は、57億3千9百78万8千円、国民健康保険特別会計予算は、9億8千8百9万3千円、後期高齢者医療特別会計予算は、

4千9百44万6千円で、医療技術の高度化や多種多様化する疾病などにより、今後も医療給付費等の増額が見込まれ、厳しい医療財政の状況が続いていくものと思われま。

簡易水道特別会計予算は、1億3千2百42万1千円で、一般会計と特別会計の総額が69億9百74万8千円の予算規模となっております。

以上のような予算編成でありますが、限られた財源で効率的な行政サービスを提供する使命を常に念頭に置き、すべての村民が安心して暮らせる地域社会の実現を目指し、各施策の推進に努めてまいります。

2 産業の振興と地域活性化に

（1）農業

農業については、農業振興補助金を年間通し利用できる制度として改め、継続支援することできる農家の所得向上を図ります。

また、農業関係団体と連携して「人・農地プラン」に位置づけされた地域の中心となる経営体などの担い手や受託組織制度の導入、新規就農者の確保・育成に取り組み、農地中間管理機構等を活用しながら農地の流動化及び規模拡大に努めていきます。

さらに、農業経営の発展・改善のためJAと連携して各種事業に取り組みとともに、有害鳥獣の駆除及び被害防止対策事業を継続して農家の生産意欲の確保に努めます。

耕作放棄地及び遊休農地の解消対策については、新しい体制となる農業委員会と連携を密にして農家の情報収集に努め、耕作放棄地対策協議会での事業を活用してまいります。

本村で生産される農産物の周知・販路拡大や、農産物を活用した商品の開発に向けて沖縄県産業振興基金事業等の活用を図り、関係機関と協力しながら村内外の産業まつり等を通して幅広くアピールしてまいります。

畜産業については、国・県補助事業の活用や平成26年度からのブランド牛基盤づくり支援事業や、優良精液利用促進事業を継続して実施することにより、繁殖牛の産地ブランド化を推進して畜産経営の安定化を図ってまいります。

また、自然と共生する養蜂事業を推進するため、農家の育成や蜂蜜を利用した商品開発の取り組みを行ってまいります。

林業については、昨年9月に「やんばる国立公園」として指定された地域として、これまで以上に多面的機能を有する森林の適

正な整備と保全を図り、効率かつ安定的な林業経営の確立に向け、国頭村森林整備計画に基づき森林資源の持続可能な循環利用を図るため、森林環境保全整備事業を継続して実施し、森林の保全と活用を努め、国頭村森林組合を中心とした林業従事者の就労環境改善に向けた取り組みを図ってまいります。

また、森林資源の付加価値の高い活用を目指し、森林資源活用創業支援事業を継続して行うとともに、小径木や端材等を活用する木製食器等のクラフト作り手の育成や販路先の確保など創業に向けた支援を継続して行います。

森林公園については、やんばる国立公園指定に伴い、やんばるの森の拠点施設として活用するため、公園の課題や新たなニーズ等を調査するとともに、管理運営の手法等も検討してまいります。

水産業については、安波川河口に「国頭村安波船溜まり施設」が完成したことを受け、東部地域の漁業者の就労環境改善を図るための施設として供用を開始し、適正な施設管理を図ってまいります。

また、国頭浜漁港については、漁港機能の長寿命化を図るため、水産物供給基盤機能保全事業を活用し、国頭浜漁港の現地踏査を行い、機能保全計画の策定に向け

て取り組んでまいります。

さらに、安田漁港沖の海域を活用した「やんばる東海岸ブルー・ツーリズム拠点施設」については、沖縄北部連携促進特別振興事業を活用し、前年度に引き続き整備を図り、平成29年度の一部供用開始及び平成30年度の本格的な供用開始に向けて全力で体制整備に取り組んでまいります。

地方創生事業については、平成28年度に辺土名大通りの空き店舗を活用して、コミュニティ施設、移住体験住宅及び coworking スペースを整備しオープンしたところです。本年度は、地方創生推進交付金事業を活用し、整備したコミュニティ施設を有効活用するため、イベント等の開催、移住体験住宅及び coworking スペースのPR活動を行い、知名度向上、利用促進に努めてまいります。

プレミアム付き商品券を引き続き発行し、地元消費循環による地域経済の活性化を図ってまいります。

今年3月に、美らコン参加者から2組目となる結婚報告がありました。今後も男女の出会いの場の提供だけでなく、結婚や恋愛に対して真剣に向き合えるような婚活イベントとして実施してまいります。

地域住民の創意を活かした自

主的・主体的な取り組みを促進するため、地域づくり促進助成事業を活用し、地域活性化への活動支援を実施してまいります。

地域おこし協力隊事業については、現在、移住・定住促進に関する活動を主な業務として観光協会準備室に隊員1名を配置しているところです。今年度は、辺戸岬で整備を予定している連携施設の運用を想定し、辺戸岬を中心とした地域資源の掘り起こしとその活用に関する業務を担っていた隊員を新たに1名配置する計画をしております。

国頭村の観光振興に向けた「森と水とやすらぎの里くがみ」という将来像にふさわしい「命・癒し・健康」を核とし、国頭村の強みである自然環境・産業・歴史文化・スポーツ振興を軸とした「くがみ」を推進します。

また、雇用の創出や観光客の増加に繋がるリゾートホテルの誘致可能性について、引き続き取り組んでまいります。

民泊事業に関しては、結ぐにがみ、大宜味村、東村と連携し受け入れ農家の増加を促し、修学旅行等の受け入れ体制を推進してまいります。

スポーツ合宿については、継続した営業活動を行い更なる経済効果の増大に努めてまいります。

昨今の合宿種目において、ウェイトリフティングや投てき競技の合宿が増加傾向にあり、それに伴う誘致計画としてウェイトルームや投てき場の施設整備計画を進めてまいります。また、2020年東京オリンピックパラリンピック事前合宿誘致活動も沖縄県と連携し取り組みを進めているところであります。

トレイルランニング大会につきましては、充実した交流イベントとしても定着しており、今年度も第5回大会を12月に開催し地域の活性化につなげてまいります。

定住・移住環境の整備につきましては、民間アパートとの需給バランス等を考慮した上で規模・戸数を計画し事業を進めてまいります。今年度は、比地地区の用地取得及び物件補償、実施設計等を実施し、平成30年度の建設工事完了、供用開始に向け取り組んでまいります。

空き家活用については、空き家・空き屋敷の再利用及び再生利用を促進するために、利活用計画を作成し、それに従って計画的に空き家・空き屋敷の利活用事業の計画を進めてまいります。

景観計画の策定につきましては、平成28年度に実施した基礎調査業務を踏まえ、現在、景観行政団体への移行を進めているところ

であります。移行が完了した今年度は、景観法で規定されている「景観計画区域」、「良好な景観に関する方針」、「行為の制限に関する事項」などを整理した景観計画を策定いたします。

辺戸岬の整備につきましては、「やんばる3村観光拠点施設」との連携を想定し、本村の東西をつなぐ要衝として施設整備を予定いたします。今年度は、国立公園の指定を受けた自然、祖国復帰闘争に係る歴史、宇佐浜遺跡などの文化の情報を発信する機能、辺戸岬の眺望を活かした休憩・飲食機能を備えた施設の実施設計を行います。

東部地域周遊拠点施設（仮称）整備事業については、道の駅として大型バス等が駐車できるスペース、来訪者がトイレ休憩でき、地場産野菜や魚介類を食する飲食機能や販売所等を想定した施設を29年度から30年度の2年計画として北部連携促進事業で整備を予定しております。

遊具公園の整備につきましては、村民の皆さんから生活空間の身近な環境への公園整備を望む声が多く寄せられており、現在概略設計を進めています。

また、国立公園指定や世界自然遺産登録により、今後国内外から幅広い客層が本村に訪れることが想定されます。そのため、村民

や観光客等が交流できる遊具公園として平成29年度以降の事業化に向け取り組みを進めてまいります。

3 教育と文化・スポーツ振興について

学校教育においては、継続して村学力向上推進テーマの、すべての児童生徒の「学び」の保障をめざして、「学びの共同体」の理念による授業の構築、キャリア教育の視点を踏まえた「確かな学力」の向上の推進、学校、家庭、地域と連携し「夢や希望」を持たせ、幼児児童生徒に「学ぶ意義」や「働く意義」を実感させる、豊かな心の育成、健やかな体の育成に取り組んでまいります。

児童生徒の学習支援として、小学校・中学校に支援員を配置し基礎学力の向上に努めるとともに、高等学校への進学支援を図るために無料塾を開設します。夏休み期間においては、名桜大学生ボランティアを活用した学習支援やスポーツ指導も継続して進めてまいります。

障害のある幼児児童生徒については、一人一人の能力や可能性を最大限にのばし、自立し、社会参加するための基盤となる生きる力を養うことと安全に教育が受けられるよう幼稚園・小学校に

支援員及び介助員を配置します。

貧困家庭の支援として、子ども家庭環境による問題等に対処するため、新たに教育委員会にスクールソーシャルワーカーを配置します。また、子どもたちの居場所の提供として図書館の土日開館を図ってまいります。

施設整備については、昨年度に引き続き普通教室のクーラーを設置し教育環境の改善を図ってまいります。また、校舎の耐震補強の計画的な整備に努めてまいります。各学校からの危険箇所の調査結果を踏まえた修繕等についても計画的に整備し学習環境の管理を図ってまいります。

社会教育においては、家庭や地域の協力を得ながら生活リズムの確立に向けた取り組みの強化を図ってまいります。

夢や希望の育成を目標に芸術文化事業の充実、児童生徒交流事業や自然体験活動の推進、子ども会及び子ども育成者の活性化、読み聞かせ運動の推進に向けて取り組みを図ってまいります。

また、避難場所としての機能を有する地域コミュニティの中心となる鏡地地区公民館の建設も進めていきます。

文化財の保護活用については、埋蔵文化財保護と諸開発の調整のため、試掘調査を実施し、村内に所在する埋蔵文化財包蔵状況

の実態把握の資料整備を継続するとともに、詳細な発掘調査等を通して得られた情報を公開するための文化財パンフレットの作成等を行い、情報発信に努めます。

また、天然記念物に対しても、特定天然記念物ノグチゲラの柑橘類に対する食害の詳細な状況把握と保護網の実証実験等を通して、天然記念物と農家の共生に向けた取り組みを進めてまいります。

4 子育て支援・福祉・保健の充実で健康村づくり

国頭村の子どもたちが健やかに育ち、高齢者や障害者が住み慣れた地域で安心して暮らすことができるよう、地域福祉の向上に必要な施策に取り組んでまいります。

子育て支援につきましては、妊娠初期から出産までの健診費補助、保健師による出産後の乳児家庭の全戸訪問、子育て中の親子の憩いの場である子育て支援センター事業の推進、そしてこれらの事業や支援者をつなぐ「子どもの育ちを支える支援者のためのきづき・つながりハンドブック（国頭村）平成29年度版」を作成し、包括的に子どもの育ちを支える体制を整備してまいります。また、

子育て世帯の経済的な負担軽減を実現するため、出産祝い金の支給、第3子以降保育料の無料化、昨年度から実施している子どもの貧困対策事業に学童クラブやファミリーサポートセンターの利用料の軽減を加えるとともに、不妊治療を受けている方々への費用の一部助成を行います。

新たな取り組みとして、育児、家事等の支援が必要とされる家庭に支援員を派遣する養育支援訪問事業を実施いたします。さらに、現在自動償還払いを実施している、子ども医療費の助成については、窓口支払いの負担を軽減する現物給付の取り組みを図っていききたいと思います。

高齢者福祉につきましては、高齢者が住み慣れた地域で介護が必要になっても安心して暮らせるよう、医療、介護、予防、住まい、生活支援を一体的に提供する地域包括ケアシステムの構築を図る必要があります。そのため、地域福祉推進コーディネーターを国頭村社会福祉協議会に配置し、介護予防や生活支援サービスの体制づくりを強化するための地域のニーズを把握し、高齢者を中心とした地域コミュニティの構築・住民リーダーの育成などを図ってまいります。

障害福祉につきましては、障害のある人が生きがいや目標を

もっていきいきと暮らし、障害のある人もない人も、ともに暮らせるよう一人ひとりのニーズに応じた各種福祉サービスの提供及び日常生活用具等の給付により、生活支援の充実を図り、関係機関と協力して相談支援の充実に努めてまいります。

また、障害のある人が、地域社会の一員として、地域の中で生活することができるよう、その利用ニーズに応じグループホーム等の整備を進めるとともに住まいの確保に努め、本人や家族が安心して国頭村に住み続けられるよう、社会生活を営む支援体制の充実を図ってまいります。

村立東部へき地診療所につきましては、安定した地域医療を持続的に提供するために、平成29年4月から、公益社団法人地域医療振興協会へ指定管理委託を行い、医師の確保、医療の充実につなげてまいります。

予防接種事業につきましては、乳幼児を対象とした、おたふくかぜ予防接種の費用の一部を引き続き助成してまいります。また、これまで1歳から15歳までと65歳以上の高齢者を対象としていたインフルエンザ予防接種は、新たな取り組みとして、全村民を対象とし費用の一部を助成し推奨します。

国民健康保険については、平成

30年度から沖縄県が保険者に加わることとなり、大幅な制度の変更が行われることから、国保財政の安定化を図り、健全な事業運営を行うために保険料の徴収率向上対策を強化します。制度変更後には財政負担の軽減が見込まれ、事務の簡素化が図られることから、それらを念頭に各種の保健事業や健康増進事業の充実と、各種健診の受診率向上及び保健指導を強化し、村民の健康づくりを推進してまいります。

5 社会資本と生活環境の整備について

村道については、社会資本整備総合交付金事業の継続として安田漁港線道路改良事業や平成22年度に策定した橋梁の長寿命化修繕策定委託業務の結果及び平成28年度実施の橋梁等長寿命化点検調査業務を踏まえ、鏡地辺土名線兼久橋や桃原部落内線1号橋の補修工事を実施いたします。また、現在までに41橋中9橋の橋梁補修・架替工事が完了しており、今年度においても、辺野喜楚洲線大川橋、浜部落内線屋嘉比橋の調査設計業務を実施し継続的に橋梁の修繕を行います。

沖縄振興公共投資交付金事業の継続として観光拠点施設へのアクセス道路である宜名真辺戸

線の道路改良を実施いたします。道路は村民生活や産業を支える重要な基盤施設であり、安全性・信頼性の確保を図り、道路網の計画的な保全のための整備を目指し地域の安全確保に努めていきたいと考えております。

本村の中心市街地を流れる老朽化した普通河川（辺土名川）の護岸整備による安全性の向上と自然資源を活かした河川再生による利活用を図るため、継続して多自然型の川づくり整備事業を実施してまいります。

幼保連携型総合施設整備事業は、平成26年度に策定した基本計画に基づき事業を進めており、平成29年度は建築工事、電気設備・機械設備・外構工事を実施し、平成30年の「認定子ども園」及び「くがみ児童クラブ」の開園に向け整備を進めてまいります。

生活改善事業については、地方改善整備事業による奥間地区の集落排水整備を実施し、生活環境の安定向上を図ってまいります。

水道事業については、今年度は、村内にある5簡易水道の統合施設整備事業後の初年度となっており、老朽化した施設の長寿命化による整備や経営の健全化に努めてまいります。

また、奥間区の村への経営移管に伴い老朽管や老朽施設の更新及び監視強化を図り村民へ更な

る安全・安心な水道水の安定供給を目指し、平成27年度に策定した「管路更新耐震化計画」に沿って、平成30年度からの事業採択に向け継続して調整を進めてまいります。

昨年に引き続き、超高速ブロードバンド環境の整備による情報格差の解消に向け、県や関係機関と連携し取り組んでまいります。

おわりに

以上、主な政策及び平成29年度の村政運営にあたっての、所信の一端並びに主要施策について申し述べてまいりました。

私の好きな言葉で「和を以て貴しとなす」ということわざがあります。人の和を大事にし、住民及び各方面との対話を重ね、関係機関と連携を図り、職員一丸となつて村民福祉の向上に向け、全力で村政運営に取り組んでまいります。

議員各位には、本定例会に提案しております平成29年度一般会計予算案をはじめ、諸議案につきましては、慎重なる御審議の上、御賛同賜りますようお願い申し上げます。施政方針とさせていただきます。

平成29年3月9日

国頭村長 宮城久和

昇任人事

氏名	配置先・職名	現職
與儀 光浩	住民課・課長	住民課・課長補佐
宮城 明正	世界自然遺産対策室・室長	世界自然遺産対策室・室長補佐
小橋川安広	議会事務局・局長	農業委員会事務局・局長補佐兼農地主事
田場 盛久	住民課・課長補佐	住民課・係長
金城 信和	福祉課・課長補佐	住民課・係長
新垣 隆雄	建設課・課長補佐	建設課・係長
與那嶺 信	福祉課・保健センター長（係長）	総務課・主任
玉城 郷	総務課・係長	総務課・主任
當山 英雄	企画商工観光課・係長	企画商工観光課・主任
大城 千春	幼保連携準備室・室長（係長）	福祉課・主任栄養士
新垣 武	建設課・係長	住民課・主任
樋口 淳一	経済課・係長	経済課・主任技師
比嘉 誉	教育課・係長	経済課・主任技師
新里 俊昭	総務課・係長	建設課・主任技師
平安香代子	国頭村社会福祉協議会・局長	総務課・係長

新採用

氏名	配置先・職名
大城雄聖	教育課・主事
久場竜己	建設課・技師
比嘉雄大	経済課・技師
金城加奈	総務課・主事
福本愛実	出納室・主事
宮城憂士	議会事務局・主事
久場勇貴	保健師
新里愛美	保健師

国頭村役場

人事



幼保連携型認定こども園準備室が設置されました。

今年度 4 月より幼保連携型認定こども園準備室が設置されました。

平成 30 年度に開園予定の「国頭村幼保連携型認定こども園（仮）」の準備を行っていきます。

「幼保連携型認定こども園」とは幼稚園と保育所の両方の役割を果たすことができる施設で、0 歳児から小学校就学前までの子ども達が利用することができます。

国頭村の子ども達が安心してゆったりと過ごすことができ、魅力的な遊びができるこども園を保護者、地域の方々、保育士・幼稚園教諭と共に作っていききたいと考えております。

幼保連携型認定こども園準備室（辺土名交番となり）

電話. 41-3021

一般社団法人 国頭村観光協会設立・業務開始について



平成 29 年 4 月 1 日に一般社団法人国頭村観光協会がやんばる 3 村観光連携拠点施設内の観光案内所にて職員 2 名を配置し、業務を開始しました。

観光協会の会長には、金城 茂 国頭村観光物産株式会社取締役社長、副会長には金城賜門国頭村商工会会長が就任しました。

国頭村観光協会では、国頭村の魅力を県内外へ広く PR するための役割を果たすため、村内の企業や観光関係事業者との連携を深め、村内施設の案内や観光情報の収集・提供を行い、国頭村の観光のワンストップ窓口として機能を発揮していくことが期待されています。

パインアップル缶詰原料用農家表彰式

平成 29 年 2 月 28 日、年間 50 t 以上の生産農家で安全安心（GAP）農薬使用記帳者を表彰対象に、平成 28 年度缶詰原料用パインアップル生産振興奨励事業表彰式が一般社団法人日本パインアップル缶詰協会主催によりおこなわれ、パインアップル生産振興に貢献したとして、国頭村からは宇嘉区在住の山城弘一氏が（67.6 t）、安波在住の平識善光氏が（57.3 t）、宇嘉区在住の大城榮仁氏が（51.4 t）で表彰されました。



警察活動協力功労表彰

名護警察署奥駐在所婦人の菊地一美さんが、警察活動協力功労を受賞されその報告のために宮城村長のもとを訪れました。

菊地さんは、読み聞かせボランティア「めだかの学校」での村内各学校での読み聞かせや、折り紙クラブの指導、ミニバスケットボール指導など地域活動に積極的に参加し、地域住民の安心感の確保に貢献されたことが認められ、沖縄県警察本部生活安全部長より表彰されました。

宮城村長から「これからも地域のために頑張ってください」とねぎらいの言葉が送られました。



新庁舎建設位置を現用地へ！



新庁舎建設計画については、平成8年度に「国頭村新庁舎建設基金条例」を制定し、新庁舎建設へ向けた取り組みが開始されました。平成14年度には新庁舎建設基本構想を策定し、平成15年度に新庁舎建設位置審議会から建設位置の答申がなされました。平成16年度以降は、諸事情により計画が凍結されましたが、現庁舎が今年で築54年を経過することから、老朽化又は災害等による倒壊の危険性を踏まえ、平成28年度から建設計画を再開いたしました。

平成28年度は、これまでの取り組みを踏まえ、現況に即した新庁舎建設計画の見直しを行い、建設候補地の選定を含む基本構想の策定を行いました。新庁舎の建設位置については、策定した基本構想に基づき、現在地とすることを3月24日の役場・庁議で決定し、4月27日には住民説明会を実施いたしました。今後は、村民の皆様のご理解と近隣住民のご協力をいただきながら、平成32年度の完成へ向け、新庁舎建設事業を推進してまいります。

国頭村社会福祉協議会フードバンク事業

国頭村社会福祉協議会では、まだ食べることのできる食料を地域（ご家庭や食品取り扱い店舗）の皆様からおすそ分けしていただき、失業や心身の病状等、様々な理由で困窮し、在宅での自立した生活を継続する上で、今日食べる物がなく困っている方々へ提供することで自立の援助を行うことを目的にフードバンク事業を行っております。

ご家庭等で、賞味期限が1ヶ月以上残っている飲食料を、緊急に支援が必要な生活困窮世帯へ必要量を提供し、支援することを目的としておりますので、主旨をご賛同いただき、国頭村社会福祉協議会にお持ちいただきますようご協力よろしくお願いします。

読み聞かせボランティア

「めだかの学校」読み聞かせ会

村内で活動している読み聞かせボランティア「めだかの学校」による読み聞かせ会が、3月19日（日）、国頭村民ふれあいセンターにて開催されました。読み聞かせ会当日は大型絵本の読み聞かせをはじめ、手あそびやクイズ等を交え、絵本に親しみ楽しめる多くのプログラムが実施され、来場した約70名の皆様を楽しませていました。



平成29年度 国頭村農業 振興補助金

村では農業の振興を目的に、肥料や農薬などの購入費の一部に補助金を交付します。

1農家あたりの年間補助金限度額は60万円です。認定農業者については、補助金限度額に20%上乘せします。

※ただし、補助金交付を受けるには一定の条件がありますので、詳しくは役場経済課までお問い合わせください。

各種事業補助率

- 有機質肥料： 購入費の40%
- 化学肥料： 購入費の10%
- 農薬関係： 購入費の25%

※ 確定申告（農業所得申告）をしないと助成が受けられません。

※ 畜産農家から購入する堆肥については、条件があります。

※ 各組合に属さない農家については、役場で申請手続きが必要です。（各組合とは、JA、花卉農協、ふるさと市のことです。）

手続きの流れ

農家の皆さんが各組合へ申請書を提出。（5/31まで）

役場から農家の皆さんへ可否の通知。（6月中）

肥料・農薬購入開始。（7月以降）

※補助金の対象となる肥料・農薬を7月から購入したい方は5/31までに各組合へ申請書を提出してください。



お問い合わせ先

国頭村役場 経済課 担当 比嘉 雄大 TEL：41-2122

「平成 28 年度特定防衛施設周辺整備調整交付金」を活用した、 国頭陸上競技場備品整備事業について

沖縄防衛局の交付決定に基づき特定防衛施設周辺整備調整交付金を活用し、国頭陸上競技場備品整備事業を実施しています。

国頭陸上競技場の管理・運営に係る備品を整備する事により、陸上競技場のさらなる機能強化と利用者満足度の向上を図っています。



備品の一例【写真判定装置】

「国頭村医療費助成事業」により以下の定期予防接種及び 妊婦健康診査の費用を特定防衛施設周辺整備調整交付金にて 助成しております！

(予防接種費)

平成 29 年 4 月 1 日から

予防接種内容	接種対象者
4種混合ワクチン	生後3カ月から7歳6カ月に至るまで
ヒブワクチン	生後2カ月から5歳の誕生日前日まで
小児用肺炎球菌ワクチン	生後2カ月から5歳の誕生日前日まで
水ぼうそう	1歳から3歳に至るまで
高齢者肺炎球菌	平成29年度に65歳70歳75歳80歳85歳90歳95歳100歳になる方が対象者です。
インフルエンザ	平成29年10月以降から助成いたします。 子ども6カ月以上12カ月以下13歳以上 15歳高齢者65歳以上
(母子保健費) 妊婦健康診査	村内に住所のある方が対象です。

注 意

- ①水ぼうそうに関しては、すでに水ぼうそうにかかったお子さんは対象外です。
- ②高齢者肺炎球菌に関しては、ここ5年間の内に1度でも接種している方は対象外となります。
- ③接種期間は、平成29年4月1日から平成30年2月28日まで、接種費用を**特定防衛施設周辺整備調整交付金**を活用しております。

※接種については、なるべく村内の医療機関をお使いください。その際は電話予約して、ご確認下さい。村外の医療機関で接種する事も出来ますが、その際も電話で確認して下さい。

問い合わせ先：国頭村役場・福祉課 TEL 41-2765 (直通)

平成29年度 「高齢者肺炎球菌」 対象者

高齢者肺炎球菌

肺炎球菌は肺炎の原因の1/4を占めます。また、肺炎球菌は肺炎だけでなく、慢性気道感染症、中耳炎、副鼻腔炎、敗血症、髄膜炎等の原因となります。

■ 接種対象者及び接種方法 ※接種期間：平成29年4月1日から平成30年3月31日までに接種してください

平成29年度に各年齢となる方今年度の対象者は以上の方々です

65歳：昭和27年4月2日生～昭和28年4月1日生
70歳：昭和22年4月2日生～昭和23年4月1日生
75歳：昭和17年4月2日生～昭和18年4月1日生
80歳：昭和12年4月2日生～昭和13年4月1日生
85歳：昭和7年4月2日生～昭和8年4月1日生
90歳：昭和2年4月2日生～昭和3年4月1日生
95歳：大正11年4月2日生～大正12年4月1日生
100歳：大正6年4月2日生～大正7年4月1日生

注 意

- ①接種方法
一回接種 自己負担は免除
- ②任意接種として、すでに過去5年以内に肺炎球菌ワクチンを接種している方は、対象外となります。
- ③接種する際は、医療機関へ電話をして接種予約を取ってください。
- ④国頭村立診療所 41-5380
国頭村立東部へき地診療所 41-7511
ひかり医院 41-2221



国頭村少年サッカーチーム

国頭村の少年サッカーチーム国頭 FCjr の選手等が国頭村役場を訪れ、4月15日・16日にかいぎんフィールド国頭において行われた2017KUNIGAMICUP(2017umbro サッカーフェスティバル 沖縄大会)において準優勝したことを村長へ報告しました。

同チームは6月に福岡県で行われる2017unbro サッカーフェスティバル本大会へ出場します。



奥間小学校
第72期生

卒業記念駅伝

去った3月19日(日)に「奥間小学校 第72期生 卒業記念駅伝(卒業生12名)」が行われました。

辺戸岬をスタートし、辺土名地域、奥間校区内5字を経由し約30kmの道のりを一本のタスキで繋ぎ、3時間かけて母校・奥間小学校にゴールしました。

25年ぶりに復活した奥間小学校の卒業記念駅伝に、卒業生をはじめ多くの父母の協力、祖父母、地域の方々の応援があり、とても心温まる卒業記念駅伝となりました。



人材育成基金へ100万円の寄付

沖縄砂利採取事業協同組合から、地域振興基金として1,000,000円の寄付が国頭漁業協同組合へありました。大嶺嘉昭組合長は、国頭村内の子ども達の教育及びスポーツや文化面においての人材育成基金として活用して頂きたいとの思いで、国頭村育英会へ同金額を平成29年3月22日に寄付。宮城久和会長から「貴重な寄付を頂き感謝します。村内の子ども達のため大事に有効活用致します。」とお礼の言葉が述べられました。



国頭村育英会より資金造成チャリティーPG大会のお礼について

国頭村育英会では、経済的な理由により就学困難な学生に学資を貸付し、有能な人材を育成するため貸付事業を行っています。その事業の資金造成として、去った平成29年2月18日(土)～3月12日(日)の日程でチャリティーPG大会を開催しました。

ご参加頂いた多くの皆さまからの心温まるご協力により158,472円の収益金がありました。

本大会の収益金は、貸付事業がスムーズに運営していけるよう、大切に活用させていただきます。

成績は以下の通りとなっております。

鏡地PG場

男子

- | | |
|----|-------|
| 1位 | 福地 善勝 |
| 2位 | 稲福 政弘 |
| 3位 | 知花 博康 |

女子

- | | |
|----|--------|
| 1位 | 照屋 初枝 |
| 2位 | 比嘉 朝子 |
| 3位 | 金城 みや子 |

くいなPG場

男子

- | | |
|----|-------|
| 1位 | 福地 善勝 |
| 2位 | 金城 定淳 |
| 3位 | 伊計 忠 |

女子

- | | |
|----|--------|
| 1位 | 知念 順子 |
| 2位 | 比嘉 美栄子 |
| 3位 | 比嘉 恵美子 |

第16回 果樹品評会

平成29年2月4日から5日に開催された、おきなわ花と食のフェスティバル2017において、第16回果樹品評会が行われ、浜区在住でタンカンを栽培している宮城調義さん(真ん中)が最優秀賞の沖縄県知事賞を受賞しました。



第32回 花き品評会

平成29年2月4日から5日に開催された、おきなわ花と食のフェスティバル2017において、第32回花き品評会が行われ、安波区在住でスプレーギクを栽培している比嘉栄さんが銅賞を受賞しました。

農業振興地域制度とは

農業振興地域制度は、「農業振興地域の整備に関する法律」に基づき一定の農業地域を保全し、計画的に農業振興を図るため、村が農業振興地域整備計画に定めた農用地区域として指定しています。

農用地区域内は、農業以外での土地利用が厳しく制限され、優良農地として今後も長期にわたり農業上の利用を図るべき区域としているため、それ以外の用途に利用することは出来ません。

農振除外等の手続き

農用地区域内の農用地を別の用途で利用するためには、その土地を農用地区域から除外（農用除外）や農業用施設等の設置（用途変更）などは手続きを行い、村の農業振興地域整備計画を変更する必要があります。

また、農振除外等の手続きとあわせて、農地法の手続きも必要になる場合もあります。

お問い合わせ先

※農振除外の手続きについて 国頭村役場 経済課 TEL：0980-41-2101

※農地法の手続きについて 国頭村農業委員会 TEL：0980-41-2101

農業委員会制度が変わります！

農業委員会等に関する法律の改正により、農業委員はこれまでの公選から推薦・公募による村長の任命制となるとともに、さらなる農地等の利用の最適化を進めるため、新たに現場活動を積極的に行う農地最適化推進委員を農業委員会が地域ごとに委嘱することとなりました。

委員
5人

農業委員の選任方法

市町村長は、推薦・募集を実施

市町村長は、推薦・募集の情報を整理し、公表

市町村長は、推薦・募集の結果を尊重して、
選任議案を作成

市町村議会が同意

市町村長が任命

推進委員の選任方法

農業委員会は、農業委員会が定める区域ごとに
推薦・募集を実施

農業委員会は、推薦・募集の情報を整理し、公表

農業委員会は、推薦・募集の結果を尊重

農業委員会が委嘱

委員8人
担当
区域毎

【農業委員・推進委員の推薦・募集の要件】

- 1 一般推薦：農業者等3名以上が連名での推薦
- 2 団体推薦：農業者の組織する団体からの推薦
- 3 一般募集：個人での応募 ※農業委員の過半数は認定農業者等

【農業委員の役割】

- ・農業委員会総会への出席・審議
- ・農地等利用の最適化の推進
- ・農地等の権利移動許可の決定
- ・農地転用許可等の意見決定等

連携

【農地最適化推進委員の役割】

- ・人・農地プランなど、地域農業者等の話し合いの推進や以下の現場活動等
- ・農地等利用の集積・集約化の推進
- ・遊休農地の調査、発生防止・解消の推進
- ・農業委員会総会での意見



平成29年10月1日より新たな農業委員会体制となるため、農業委員・農地最適化推進委員の募集は、6月1日より行う予定です。地域からの代表の推薦に向けて、地域または団体での話し合いをお願いします。

問い合わせ先：国頭村農業委員会 事務局 TEL 0980-41-2122



国頭村の山中で 野犬の群れが出没

今年に入り、国頭村の山中の林道で野犬の群れに囲まれるなどの情報が寄せられ、人が被害にあう恐れがあります。また、山中だけでなく人里でも野犬に追いかかれたとの情報が寄せられています。

1 山中には必要以外立入らないようにしましょう

3 野犬に遭遇した場合

2 山中に立入る場合

- ・車から遠く離れず、直ちに逃げ込める態勢を取る
- ・単独行動を控え、できる限り多人数で行動する
- ・屋外での食事を控える

- ・野犬に近づかない
 - ・急に動いたり、大声で叫んだりして野犬を興奮させない
 - ・野犬が自分のなわばりとみなしている領域から速やかに撤退する
- その際、野犬から目を離さず、背中を見せずにゆっくりと後ずさりする。ただし、正面からにらむことは敵対心を示すので、目の端で野犬を捉える。

平成28年度 ふるさと納税実績

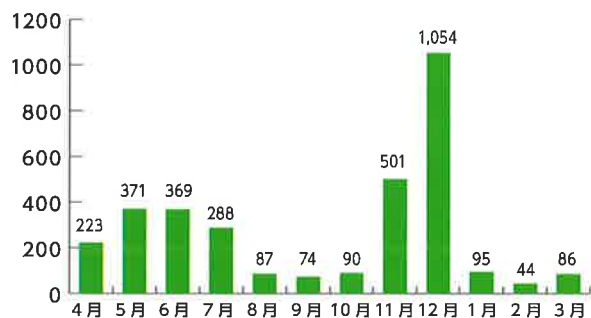
全国より、国頭村に貴重な寄付を頂き誠にありがとうございます。寄付金は、より良い村づくりのために大切に活用いたします。

国頭村のふるさと納税は、平成27年10月から村内特産品を多数選定し寄付者へのお礼品として贈呈することにより、寄付の促進や特産品のPR・販売促進に繋がっています。

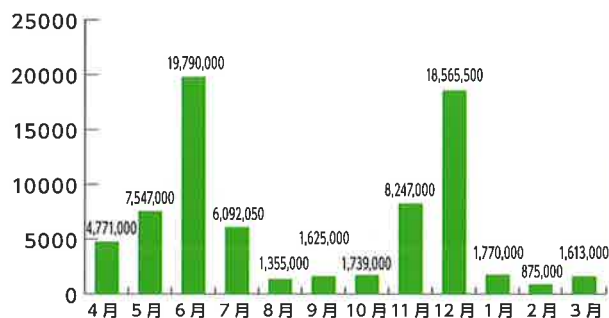
国頭村ふるさと応援寄付金 寄付金額集計表 寄付件数合計 3,282 寄付金合計 ¥73,989,550

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
件数	223	371	369	288	87	74	90	501	1,054	95	44	86
寄付金	4,771,000	7,547,000	19,790,000	6,092,050	1,355,000	1,625,000	1,739,000	8,247,000	18,565,500	1,770,000	875,000	1,613,000

寄付件数推移



寄付金額推移



ふるさと納税お礼品提供業者の募集について

国頭村では、ふるさと納税の促進と本村の魅力や地元特産品等のPR等を行うため、本村へふるさと納税（寄附）をしていただいた方へ、お礼品として贈呈する地元特産品の提供事業者を募集しています。

業者応募要件

- ・村内に事業所が生産場所がある法人又は個人事業者
- ・村税等に滞納がないこと。
- ・飲食物については、必要な各営業、販売許可書又は営業届済証の交付を受けていること。
- ・代表者等が、暴力団による不当な行為の防止等に関する法律に掲げる暴力団の構成員等でないこと。

現在採用されているお礼品

- ・食 品（国頭村産）
マンゴー、パインアップル、スイカ、たんかん、豚肉、猪豚肉、その他加工食品
- ・その他
ネイチャーツアーパック、コスメ用品、宿泊施設宿泊券

お問い合わせ・申込 国頭村役場 総務課 TEL0980-41-2101

子育て中の困りごとは、ありませんか？



国頭村役場 福祉課

- ・母子手帳発行、児童関係手当等について
- ・障がい、療育、医療相談について
- ・経済的相談、就労相談等について
- ・保育所入所等について
- ・子育て、児童虐待、家庭相談等について などなど

TEL：080-9851-0045

(家庭児童相談員・スクールソーシャルワーカー)

TEL：0980-41-2765

(福祉課直通)

メール・LINEでも相談受付をしています！
Kunigami.ssw@ezweb.ne.jp



月日 曜	行事名
6/4 日	国頭村ソフトボール大会（予備日6/11）・狂犬病予防接種（謝敷～安波）
8 木	乳幼児健康診査②
10 土	第22回男女なかよしペアPG大会（安田）・国頭村婦人会総会
11 日	狂犬病予防接種（浜～与那）
17 土	「吹奏楽大学日本」神奈川大学吹奏楽部 2017 国頭村特別公演 村立小中学校出校日
18 日	第22回国頭村ゴルフ大会
21 水	住民健診（午前：鏡地、午後：半地）
22 木	住民健診（午前：桃原、午後：比地）
23 金	慰霊の日
25 日	国頭中学校運動会・第39回国頭郡サッカー大会
26 月	住民健診（奥間）
27 火	住民健診（浜）
28 水	住民健診（辺土名）
29 木	住民健診（午前：安田、午後：安波）
30 金	住民健診（午前：奥、午後：楚洲）
その他	村県民税（普通徴収）納付月（第1期）

月日 曜	行事名
7/1 土	第26回国頭村児童オリンピック大会
3 月	住民健診（午前：宜名真、午後：辺戸）
4 火	地域教育懇談会・住民健診（午前：辺野喜・宇嘉、午後：佐手・謝敷）
5 水	地域教育懇談会・住民健診（午前：伊地・宇良、午後：与那）
9 日	第16回国頭村各字対抗ボウリング大会（名桜ボウル）
10 月	青少年の深夜徘徊・未成年飲酒防止国頭村民大会
13 木	離乳食体験①
14 金	第27回国頭村老人グラウンドゴルフ大会
16 日	国頭村ソフトテニス大会（予備日：7/22）・第36回国頭郡ソフトボール大会
17 月	海の日
20 木	村内幼小中学校一学期終業式
22 土	住民健診（もれ者①保健センター）・第22回半地夏祭り
23 日	国頭村球技大会
26 水	第5回国頭村・北斗会中学生やんばる交流事業（28日まで）
29 土	国頭村子ども会写生大会・第14回国頭郡ゴルフ大会・第54回国頭郡軟式野球大会（7/31まで）・第19回国頭村長杯争奪中学校野球強化大会（7/30まで予備日7/31）
その他	固定資産税納付月（第2期） 夏の交通安全県民運動 変更することがありますので、あらかじめご確認ください。

大会案内・結果等は国頭村（教育委員会）ホームページで確認できます！
平成29年度★パークゴルフ大会年間予定表★（2017年度）
 ※大会申込みは必ず『参加料を添えて』申込をお願いします ※国頭村のホームページで閲覧・印刷（※※※※）可能
 ◆大会の申込み受付先/くにかみ鏡地PG場（TEL・FAX41-2100）&くいなPG場（TEL・FAX41-7788）

開催日	曜	大会名	会場	種目	参加料	開会式予定時刻
5月20日	土	第16回チーム対抗PG大会	くいなPG場	団体戦・一般・70歳以上 男・女別個人戦	4000円/チーム	PM13:00
6月10日	土	第22回男女なかよしペアPG大会	くいなPG場	男・女ペア大会	2000円/ペア	AM09:00
8月19日	土	第19回国頭村PG大会（字対抗）（18H）	鏡地PG場	団体・年代別男・女個人戦	3200円/チーム	AM08:30
9月9日	土	恋し鏡地まつりPG大会【鏡地区主催】	鏡地PG場	男・女別個人戦	1000円	
9月23日	土	「クイナまつり」第7回PG交流大会	くいなPG場	年代別男・女個人戦	1000円	AM09:00
9月30日	土	第9回フリーペアPG大会	鏡地PG場	ペア自由の大会	2000円/ペア	AM09:00
10月15日	日	第17回沖縄県PG大会	くいなPG場	年代別男・女個人戦	1000円	PM12:00
11月		子ども会・婦人会PG大会【子ども会・婦人会主催】	鏡地PG場	三世代		
11月4日	土	第6回職場対抗PG大会（18H）	鏡地PG場	団体・年代別男・女個人戦	4000円/チーム	PM13:30
11月19日	日	第15回系満ワインカップPG大会	鏡地PG場	男・女別個人戦	1500円	
11月22日	水	第14回老人クラブPG大会【老連主催】	鏡地PG場	老人クラブ団体戦・個人戦	無料	AM09:00
12月3日	日	第23回男女なかよしペアPG大会	鏡地PG場	男・女ペア大会	2000円/ペア	AM09:00
12月17日	日	第4回キョウキョウ杯PG大会	くいなPG場	年代別男・女個人戦	1000円	PM12:30
1月21日	日	第17回チーム対抗PG大会	鏡地PG場	団体戦・一般・70歳以上 男・女別個人戦	4000円/チーム	AM08:30
2月4日	日	第7回郵便局（株）杯PG交流大会	くいなPG場	年代別男・女個人戦	1000円	PM12:00
2月～3月		村育英会チャリティPG大会	鏡地・くいなPG場	男・女別個人戦	チケット1000円	
3月3日・4日	土・日	第19回全国ふれあいPG大会	鏡地PG場 くいなPG場	72ホール男・女別個人戦	5000円	AM08:30

★65歳以上全国愛好者「がらんじゅう大会」主催：国頭村PG協会/5月・7月・10月・2月・3月（原則第4水曜日）AM9:00
 ◆大会に関する問合せ先/国頭村PG協会事務局（教育委員会）/TEL0980-41-5308/県PG協会連合会事務局（古堅）/（携帯090-7169-9947）
 FAX 41-3168
 皆で仲間を増やし、多くの参加者で大会を盛り上げよう！



保健師だより Vol.26 毎年受けよう！各種健診！

6月21日から各区において、住民健診（20～39歳・特定健診（40～74歳）・長寿健診（75歳以上）が始まります。国頭村における平成27年度の特定健診受診率は49.4%で、住民の半数が受診していません。生活習慣病は自覚症状がないまま進行する事も多く、自覚症状が出てくる頃には、狭心症や心筋梗塞、脳梗塞など重症化している事もあります。そのため、毎年健診を受けて、現在の自分の健康状態を知ることが重要です。大きな病気を予防するために、早い時期に生活習慣を改善することが大切です。今年も特定健診の結果説明会（40～74歳）を実施いたします。健康状態に合った生活習慣の改善を保健師、管理栄養士、看護師がサポートします。日程等の詳細については、案内通知文や世帯に配布しているチラシをご参照ください。

保育所等巡回相談支援について

この巡回相談は国頭村が平成23年度より名護療育医療センターに委託して実施している事業です。国頭村内の未就学児児童に対して、巡回支援専門員が子どもやその親が集まる場所に巡回し、子どもの育ちについて相談・支援を行います。また必要に応じて、専門知識を有するスタッフとともに連携し、専門的な相談・助言・支援等を行っていきます。

名護療育医療センター

5210957（甲斐）